

夏休みの6年生取材活動



7月21日：小町塚・晴明塚・甚目寺飛行場址・甚目寺歴史民俗資料館

「ふるさと甚目寺 われら歴史・文化調査隊」の取材、第1日目でした。大変暑い中、小野小町のお墓？とも言われている小町塚、阿倍晴明が祈祷をしたと言われている晴明塚、そして第2次世界大戦時に造られ、今は作戦司令室の一部のみが当時の面影を残す甚目寺飛行場址の3か所をまわりました。その後、甚目寺歴史民俗資料館の野村先生から、これらの遺跡の歴史について詳しく学びました。その中で、甚目寺飛行場の建設についての説明会が、当時の甚目寺小学校の講堂で行われた等、貴重な話をいろいろ聞くことができました。



7月22日：ふれあい人権センター

「ふるさと甚目寺 われら歴史・文化調査隊」の夏の取材2日目は、「ハンセン病と小笠原登博士」について学習するグループが、「ふれあい人権センター」に行きました。前日の取材日と違って、この日は朝から雨が降っていたので、急遽、徒歩での見学に切り替えました。雨脚が次第に強まる中、雨に濡れながら約40分かかってセンターに到着しました。センターでは小笠原登博士の偉業を紹介するDVDを視聴させていただいた後、小笠原博士に関する貴重な展示物を見せていただきました。ハンセン病や小笠原博士に関する資料もたくさん用意していただいたので、今後の調べ学習にしっかり役立てたいと思います。



7月24日：萱津神社

「ふるさと甚目寺 われら歴史・文化調査隊」の取材、3日目は「萱津神社」に行きました。暑い日でしたが、風があったので、自転車をこぐには気持ちのよい日でした。萱津神社では、神社の歴史について書かれたパンフレットをいただき、由緒ある神社の歴史について、禰宜さんから聞くことができました。また漬け物殿の中や、漬けてある漬け物も実際に見せていただきました。神社のご神木の「連理の榊」が日本武尊がお手植えしたものであるとか、狸に化かされる話が残っていることなど、興味深い話をたくさん聞くことができました。子どもたちは、8月21日に行われる「香の物祭り」に再び訪れることを神社の方と約束しました。



7月27日：鎌倉街道・萱津合戦碑・甚目寺歴史民俗資料館

「ふるさと甚目寺 われら歴史・文化調査隊」の取材4日目は、「鎌倉街道・萱津合戦碑」グループの取材日でした。学校を出てまず向かったのは、現在甚目寺に残っている鎌倉街道の南端、昨年の取材でお世話になった「タンゲ化学」付近です。北は西今宿までになりますが、この日は途中から街道を外れて、萱津合戦碑を見学しました。街道には今でも歴史あるお寺が数多く点在し、街道がいかに重要な意味をもっていたかが、よくわかります。この地域では珍しい時宗のお寺の存在や、織田信長が19歳の時に参戦した萱津合戦について、甚目寺歴史民俗資料館の近藤先生や野村先生から詳しく話を聞きました。武将の浮世絵など貴重な資料も見せていただきました。萱津合戦碑の前で今でも萱津神社の宮司さんによる法要が行われていることも知り、身近に歴史を感じることができる甚目寺のよさを改めて感じることができました。



7月28日：甚目寺観音・甚目寺歴史民俗資料館

「ふるさと甚目寺 われら歴史・文化調査隊」の取材5日目、今日のグループで夏休みの取材が最後になります。今日は、甚目寺小学校の東に隣接する「甚目寺観音」の見学でした。全員で本堂でのお参りを済ませ、観音様の貴重な建物を中心に見学させていただきました。子どもたちにとって、普段の生活でもなじみの深い観音様ですが、こうして改めて訪れてみると、今まで気づかなかった発見もいろいろあったようです。その後、甚目寺歴史民俗資料館に移動して、野村先生から観音様の歴史について詳しく教えていただきました。また、資料館に展示してある、観音様一帯を含む甚目寺遺跡からの貴重な出土品、観音様の所蔵品等の説明をしていただきました。

こんなに身近に素晴らしい歴史、文化遺産があることは、子どもたちの今後の「ふるさと学習」への大きな意欲へとつながることと確信しています。どこを訪れても、子どもたちをやさしく受け入れてくださり、熱心にお話をさせていただきましたことに、深く感謝いたします。甚目寺歴史民俗資料館（美和歴史民俗資料館）様、萱津神社様、人権ふれあいセンター様、甚目寺観音様、本当にありがとうございました。

「甚目寺説教源氏節」のグループの取材については、2学期に「もくもく座」の方たちにお世話になる予定です。